

2012年5月28日

報道関係各位

社団法人 日本脳卒中協会
サノフィ・アベンティス株式会社

脳卒中克服の推進活動への貢献を称える
日本脳卒中協会「サノフィ・アベンティス賞」
平成24年度受賞者決定

社団法人 日本脳卒中協会(所在地:大阪市阿倍野区、理事長:山口武典、以下「日本脳卒中協会」と、サノフィ・アベンティス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジェズ・モールドイング、以下「サノフィ・アベンティス」)は、本年5月26日(土)にサンポートホール高松で開催された同協会総会において、平成24年度 日本脳卒中協会「サノフィ・アベンティス賞」の受賞者の発表と表彰式を行いました。

日本脳卒中協会「サノフィ・アベンティス賞」は、脳卒中患者・家族に対する教育・訓練・社会参加への支援活動を促進するための活動に貢献した個人あるいは団体を選定し、顕彰することを目的に平成22年(2010年)に創設されました。選考委員会による厳正なる選考の結果、平成24年度受賞者は、以下の通りとなりました。

<p>倉敷市保健所・倉敷市連合医師会 (岡山県倉敷市)</p>	<p>倉敷市保健所・倉敷市連合医師会は、「平成24年度倉敷市脳卒中予防対策事業」として、平成18年から19年度の倉敷市基本健康診査で心房細動ありと診断された市民に対して受診を促す個別通知を行い、受診状況の追跡・確認を実施されました。</p> <p>脳卒中の重要な危険因子でありながら一般の方々にはまだ認知度が低い心房細動について、積極的なリスク管理に取り組まれています。</p>
<p>フロイデ工房しろさと (茨城県東茨城郡)</p>	<p>フロイデ工房しろさとは、平成21年の設立以来、脳血管障害による高次脳機能障害を持っている方の就労支援・訓練を行い、多くの方を就労・復職に導いてこられました。</p> <p>高次脳機能障害者の訓練を行っているところは少なく、就労・復職で困っておられる方が数多くおられるなか、民間の施設として、高次脳機能障害のある脳卒中患者の社会参加を支援されています。</p>

サノフィ・アベンティス賞表彰式において、日本脳卒中協会理事長である山口武典は「今回の受賞者の方々には脳卒中の発症予防活動や、脳卒中を経験された患者さんやそのご家族の支援活動を積極的に続けてこられました。そのご功績に深く感謝申し上げます。倉敷市保健所・倉敷市連合医師会、フロイデ工房しろさとの運営に関わられている皆さんにつきましては、今後の会の一層のご発展を祈念いたします」と祝辞を述べました。またサノフィ・アベンティス執行役員 渉外本部長の島田秀孝は、「脳卒中の患者数は増加の一途をたどっており、継続した疾患に対する教育・啓発が何より重要です。サノフィ・アベンティスは、脳卒中予防の重要性を患者さんや一般の方々にご理解いただくよう、今後も努力を続けてまいります」と述べました。

日本脳卒中協会は、これまでに脳卒中撲滅のため、脳卒中予防に関する正しい知識の普及や、患者さんが最適な治療を受けるための情報提供など、人々の脳卒中に関する理解度の向上、患者さんの理解度の向上と QOL 改善のため、幅広く活動を行ってきました。また、サノフィ・アベンティスは2008年より、「No 梗塞、No リターン」と題する脳梗塞予防キャンペーンを日本脳卒中協会と共同で開催し、キャンペーンの中核イベントとして「NO 梗塞アカデミー」を継続的に実施しています。「NO 梗塞アカデミー」はこれまでに9回開催され、延べ3,000人以上の患者さんやその家族が脳梗塞の再発予防の重要性について学び、また患者さん同士が交流を深めてきました。

脳卒中で亡くなる方は日本国内で年間約12～13万人に上り、日本人の死因の第3位を占めています¹。中でも脳卒中の約75%を占める脳梗塞²は、発症者の10人に1人が1年以内に再発³し、再発した場合は初発時より重大な後遺症をもたらす可能性が高いといわれており、継続的な再発予防が必要です。

日本脳卒中協会ならびにサノフィ・アベンティスは、今後もさらに脳卒中克服に貢献するため、ともに努力を続けてまいります。日本脳卒中協会「サノフィ・アベンティス賞」を通じて、国民の脳卒中克服へ向けた取り組みを顕彰することで、脳卒中に対する人々の理解を一層深めることにつながることを願い、患者さんやご家族にとって、より生活しやすい社会の実現に向けた契機となることを期待します。

以上



< サノフィ・アベンティス賞 受賞式にて >
左から、日本脳卒中協会理事長 山口 武典
フロイデ工房しるさと 小塚 仁美氏
倉敷市保健所 所長 吉岡 明彦氏
サノフィ・アベンティス 渉外本部長 島田 秀孝

別紙：日本脳卒中協会「サノフィ・アベンティス賞」概要

1 厚生労働省「平成21年人口動態統計月報年計（概数）」
2 荒木ら，脳卒中データバンク 2009
3 Hata J.et al: J.Neurol.Neurosurg. 76:368-372, 2005

日本脳卒中協会「サノフィ・アベンティス賞」概要

- <目的> 脳卒中患者・家族に対する教育・訓練・社会参加への支援活動に貢献した個人、もしくは団体を顕彰する
- <主催> 社団法人 日本脳卒中協会
- <後援> サノフィ・アベンティス株式会社
- <創設> 2010年(平成22年)
- <対象者> 日本脳卒中協会会員が推薦する個人もしくは団体
- <選考> 1. 選考委員会は、受賞候補者を審査し、選考後に選考結果を理事会へ提出
2. 理事会は上記の選考を受け、受賞者を決定
- <表彰> 毎年1回表彰し、受賞者には賞状と盾、副賞として賞金(総額50万円)を贈呈
- <表彰式> 日本脳卒中協会総会・脳卒中市民シンポジウムにおいて表彰

社団法人 日本脳卒中協会について

脳卒中に関する正しい知識の普及及び社会啓発による予防の推進ならびに脳卒中患者の自立と社会参加の促進を図り、国民の保健、福祉の向上に寄与することを目的とし、平成9年3月に設立され、平成17年3月に社団法人として認可されました。平成24年5月現在、46都道府県に48の支部があり、脳卒中を発症した患者さんやご家族を始め、医療従事者、行政・福祉関係者、一般の方々への情報提供や調査研究活動などを行っています。また、NPO法人 全国脳卒中者友の会連合会の支援も行っていきます。日本脳卒中協会に関する詳細は、ホームページ(<http://jsa-web.org>)をご参照ください。

サノフィ・アベンティス株式会社について

サノフィ・アベンティスは、約3,000人の社員を擁し、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」というビジョンのもと、主要治療領域である糖尿病、オンコロジー、血栓症、循環器疾患、内科系疾患、中枢神経系疾患において、患者さんの治療に貢献する医療用医薬品の研究開発、製造・販売を行っています。サノフィ・アベンティスは、サノフィ・グループの一員です。